

ひめだ高広ニムス

No.1218

18.9.25

9月定例会市議会報告



連休中はいい天気でした。22日(土)は新日本スポーツ連盟和歌山テニス協会のミックスダブルス大会が、つじが丘屋内コートで開催され、私どもだもいつものペアで出場。5試合で2勝の成績でしたが、ケガもなく良かったです。今日は、日本共産党市議団の一般質問について報告します。

就学援助制度の改善を求める

9月18日(火)日本共産党の中村あつと市議員は、就学援助の改善について一般質問しました。中村議員は、尾花市長が市長選挙の討論会で、就学援助制度について

「国基準に達しないことや、さらには業種によっておおよそ2倍の差があること」を指摘し、取り組むのかと質問しました。また、就学援助給付の遅延防止の所帯がばらばら

な中で、中村あつと市議員は、台風21号による停電や断水、家の破損などについて市民の声を聴き、市の対応について、市長の考えを質問しました。

護世帯と同程度となっている問題が指摘し、改善を求めました。これらについては、尾花市長は時期については答えず、「順次引き上げる。認定基準は今後検討する」と答弁。中村議員は、中

学校入学時の新入学学用品費の支給が3月支給になったものの、該当者からは制服の採寸実施時期までに支給を求め、声のある11人が、支給時期を早くしてほしいと要望しました。

中村あつと市議員は、台風21号による停電や断水、家の破損などについて市民の声を聴き、市の対応について、市長の考えを質問しました。

<1001>

フリーの人々



9月19日(水)日本共産党の中村あつと市議員は、就学援助の改善について一般質問しました。中村議員は、尾花市長が市長選挙の討論会で、就学援助制度について

「国基準に達しないことや、さらには業種によっておおよそ2倍の差があること」を指摘し、取り組むのかと質問しました。また、就学援助給付の遅延防止の所帯がばらばら

な中で、中村あつと市議員は、台風21号による停電や断水、家の破損などについて市民の声を聴き、市の対応について、市長の考えを質問しました。

中村あつと市議員は、台風21号による停電や断水、家の破損などについて市民の声を聴き、市の対応について、市長の考えを質問しました。

児童虐待防止対策

9月19日(水)日本共産党の中村あつと市議員は、児童虐待防止について一般質問しました。中村議員は、所

在者が住んでいない空き家が周辺住民の生活に悪影響を及ぼすなど、児童虐待防止の観点から、責任は所有者が果たすべき

今週のフリーの人々

(その164)

月餅でニコニコ

9月22日(土)夜、和歌浦健康館で日中友好協会和歌山市支部の中秋のついでに奥村のり子県議、松坂みち子市議と一緒に私、ひめだも参加。前回は、片男波公園の広場のわづかな明かりで豪華な近頃食べ、帰り際にわづやくの月餅が顔をびくびくさせています。今回は雨風を避け室内でグループ「朋友」の二胡とピアノ演奏を聞いたあと、お目当て

の月餅を食べました。食べ放題とは思いませんでしたが、直径5センチほどの月餅が4等分され、一人当たり2切れずつ、は？半分ずつか、あとの心の声が届いたのか？知らんまにつぶやいたのか、隣りの方から「切れず2切れが回ってきたので、なんと！幸運？暖かいウーロン茶と一緒にニコニコいただきました。今回、お月さんはずっくと比べてくれました。



ひめだ高広

だと指摘。しかし実際には、放置された草木が茂り隣家が道路に覆い被さり、由が発生源など事情が複雑せらびついていることを紹介。危険家屋の除去については、執行できる法が整備されたが、市の関係各課が所有者に働きかけても、依然改善されない点について打開策はないのかと質問。市が対策を今も住宅問題として、市場原理に任せただけではなく市の住宅政策を策定し

せるべきだと主張。

森下議員は、この風で学校給食が作れなかったことから、避難所になっている小中学校の給食のあり方

食品ロスの削減対策の促進

9月9日(水)日本共産党の南畑さくら代市議員は、食品ロス削減について一般質問しました。食品ロスは、本来食べられるのに廃棄されていく食糧の1つです。南畑議員は、今、世界中で

を1億5千万トン削減する必要がある。森下議員は、この風で洋式化や男女別化について今年度までの進捗計画を質問しました。

は8億人もの人々が栄養不足になっている一方で毎年生産された食糧の3分の1が捨てられており、日本でも同様で1年間800万トンの食糧の約3分の1の2842万トンが捨てら

れていると指摘。世界でも日本でもこの食品ロスをなくしていく取り組みがあるもの、また本格化していることから、市としても積極的に取り組むべきだと質問しました。南畑議員は食品ロスを引き取り必ずする個人や団体に譲渡する御

熱中症対策の強化を求める

9月20日(木)日本共産党の松坂みち子市議員は、熱中症対策について一般質問しました。松坂議員は、今

市のフードバンクの取り組みを紹介し、和歌山でも取り組むことが必要だと主張しました。南畑議員は、浸水対策について、市の雨水の專業計画や浸水地域の住民の要望把握や整備状況についても質問しました。

年の夏は、暑熱が過剰な状態を招く猛暑日が続く。熱中症による搬送や熱中症による死者が出ていることから、熱中症の予防策の1つであるエアコンの設置について、小中学校の整備、教室のエアコンは整備されたものの特別教室への設置ができていないことについて、市の考え方を質問しました。また、死亡リスク

「おじいちゃんおばあちゃん」

松坂みち子市議員の質問

孫の通う幼稚園+孫の名前で手紙が来ました。何々と思ひ開けると、年中の孫の絵と、今年一年生のお姉ちゃんの手紙が入っていました。「わか

やまのばあばだすきだよ」といふ手紙だった。告白にほろり。園と娘の計らにも感謝です。同居の母のところには甥から暖かい上着が届き、母は何で?と思つた。敬老の日だからでしょと喜んで、なるほど。この親にしてこの子あり、でしょうか。

の目を意識して祖父母に何かをしたという記憶はあまりなく、もっとできることがあったはずなのに反省しています。政治ももっと高齢者に優しくあいたいものです。



松坂みち子 (県議予定候補)

また、死亡リスク

が低い高齢者への情報提供。底見守りの強化を要求。松坂議員は、支所・連絡所、ミニセンター、保健所、市民会館などが取り組む熱中症予防施設について、民間事業所にも協力を求める取り組みを提案。また新規の住宅建設を禁じたエアコンの設置費用が国の補助金でまかなった場合のエアコンの設置費用は、除外的な問題と指摘し、改善を求めました。松坂議員は、通学路の安全について質問しました。